

仙台市議会議員（青葉区）岡部 恒司

仙台市議会活動レポート

令和4年第1回定例会報告

2022年 春 号

ホームページは
こちらです！

■発行人／岡部恒司

■ご意見ご要望は…〒981-0933 仙台市青葉区柏木2-4-16-501 TEL022-271-1770 <http://okabekoji-sendai.jimusho.jp>

今回の議会レポートは、令和4年第1回定例会報告です。

今定例会では、令和4年度一般会計当初予算案など、議案72件、意見書3件を審議・可決、人事案2件に同意しました。令和4年度の一般会計当初予算は、5928億9300万円（昨年比102.9%）となりました。

今回のレポートは「自由民主党」の代表質疑と答弁の要点、議会を代表して、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する非難決議の提案や、予算等審査特別委員会での岡部こうじ総括質疑の質疑項目、仙台市令和4年度一般会計予算、青葉区の主要事業の一部を記載させていただきました。

是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

令和4年第1回定例会 会派自由民主党代表質疑抜粋

施政方針に掲げた施策の実現について

質問 市長は施政方針において「世界に誇る魅力と活力を生み出すまちづくり」と「多様な視点から一人ひとりの活躍を支えるまちづくり」を施策の柱に据えられた。

コロナ禍への対応と、世界を射程にしたまちづくりの両方を進めていこうという気概は評価するが、その道のりは決して平坦なものではない。市長がまちづくりにおいて「世界」を強く意識された思いを伺うとともに、2つの柱に掲げた施策を実現していく決意を伺う。

答弁 本市には学都としての知的資源や東京との近接性、また杜の都の豊かな自然や歴史、多彩な魅力を有する東北各都市との連携など多くのポテンシャルがあり、これらを最大限に生かすことが未来を輝かせるカギになると考えている。

仙台に関わる多様な主体の皆様方の力を結集しなければならないと考え、街と人の双方を育む戦略を持ちながら、市民の皆様と共に挑戦を重ね未来を切り開いていく。

青葉山エリアについて

質問 市長は、わが国トップクラスの音楽ホールの整備を目指すにあたって、青葉山エリアこそがふさわしいとして、青葉山エ

リアのまちづくりを進めていくと話された。改めて立地場所に至る経緯、このエリアに整備していくことの決意について伺う。

答弁 青葉山交流広場については十分な敷地の広さやアクセス性はもとより、仙台開府の地という歴史的な重みを有し、豊かな自然にも囲まれた「杜の都・仙台」にとって特別な場所に位置している。

近隣には多様な文化歴史学術の資源が集積しており、文化芸術の創造・発信の新たな拠点にとってふさわしいと考え、この地に音楽ホールの整備を決断した。

質問 整備には200～300億円かかる巨大プロジェクトだ。その財源確保は如何か。

答弁 地方債の活用が基本となるが、基金やクラウドファンディングの活用、民間活力の導入など、一般財源の負担を減らすためのさまざまな工夫、努力を行っていきたい。



開発が期待される青葉山エリアイメージ

質問 市長は音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点を複合整備する考えを示されたが、その理由の一つとして両施設の親和性を上げている。2つの施設の親和性とはどんなものなのか。目的や特性が異なる2つの施設を一律に整備することとなるが、いかなる効果を想定しているのか伺う。

答弁 文化芸術の拠点となる音楽ホールと、「災害文化」を想像する中心部震災メモリアル拠点の複合整備は、街の魅力の向上や新たなにぎわいと交流による活性化につながることに加え、復興の過程で大きな力を発揮した文化芸術と、未曾有の震災からの復興のシンボルにもなる、こうした点に「親和性」があると考えている。

複合整備によりスペースの問題や設備の共有化によるコスト削減効果はもとより、来場者にとっては音楽をはじめとする文化芸術に親しむとともに、災害文化に触れるきっかけになることを期待している。

質問 宮城県民会館移転後の跡地の利活用は、本市にとって非常に重要だと述べられたが、その思いや考えに変わりはないか。

合わせて機能更新を行わないとされている市民会館廃止後の跡地利用も伺う。

答弁 私はこのエリアを若い世代をはじめとする多くの方々が交流する創造性に満ちた場所へと進化させたいと考えている。

また、市民会館についても併設する住宅を所有するURとの協議に着手したところで、両施設の跡地利活用がエリア全体の活性化に資するものとなるよう、県やURとの協議を加速させたい。

質問 定禅寺通りの活性化に向け、地元関係者と共に取り組みを進めてきた。これまでの取り組みを踏まえ、今後本市として定禅寺通りの活性化に具体的にどう取り組んでいくのか。

答弁 今年度末に定禅寺通りの将来像をまとめた基本構想を策定する予定で、新年度に道路空間再整備などを盛り込んだエリア活性化方針を策定するとともに、企業等の公共空間を活用したミニ社会実験の企画などを支援する。引き続き定禅寺通りエリアの価値を高め、多くの市民や来訪者が訪れ、滞在したくなる環境作りに取り組んでいく。

仙台駅周辺のまちづくりについて

質問 青葉通りエリアの広場化に取り組む意義と、新年度に実施を予定している社会実験の目的、内容について伺う。

答弁 具体的内容は検討を行っているが、例えば緑を配置した憩いの空間や観光案内や、東北の魅力を発



広場化した青葉通りイメージ

信するスペースとして活用することなどを想定している。駅前エリアが、市民が誇れる魅力ある仙台の顔として、多くの人を引きつけ、他のエリアへと導く回遊の起点となるよう取り組みを進めていく。

質問 現在高速バスのバス停が西口、東口に分散し乗り場のわかりにくさや、バス待ち環境等について課題がある。仙台駅周辺は広域的な交通拠点としての機能強化が今後ますます重要と考えるが、バスタプロジェクトの意味をどう捉えているのか。

答弁 分散している高速バスのバス停の集約や待合機能の整備、災害対応や次世代モビリティも見据えた整備が想定されることから、乗り継ぎ利便性の向上や定時制確保、街の回遊促進など、利用者や交通事業者はもとより、本市のまちづくりの面でも様々な効果が期待できると認識している。

令和4年度当初予算編成について

質問 新年度一般会計予算は5929億円と過去最大の規模となった。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により市税の納付が困難となった方に対し、納付を猶予する特例が設けられたが、まずこの徴収猶予の特例を受けた方の件数、税額とこれまでの納付実績について伺う。

新年度の歳入の太宗を占める市税収入については、長期化する感染症の影響で疲弊している地域経済や市民生活の実態に必ずしも即していないようにも見受けられるが、どんな手法で分析し見積もりを立てているのか。

答弁 感染症の影響により市税の徴収猶予の特例を受けた方の件数は1606件、税額は約21億円であり、その9割以上にあたる約19億円の納付をいただいている。

新年度の市税収入のうち、法人市民税については、飲食・宿泊業の厳しい状況は続いているものの、製造業や情報通信業など多くの業種では業績の伸びが見られるなど、直近の申告実績や企業の収益見込み等を参考に見積もっている。

質問 令和5年度から令和7年度の財政見通しでは収支差が969億円と見込まれている。将来にわたって持続可能な財政基盤を確保していくためには、歳入・歳出両面にわたってあらゆる方策を講じる必要がある。まずはなんといっても地域経済の早期回復、そして成長による税源涵養が重要だ。新年度における主な経済対策は。

答弁 地域経済への影響を最小限に抑えるため、資金繰り支援による下支えとともに、商店街等買い回り促進キャンペーン等の消費喚起策を講じていく。

また、経済環境の変化を踏まえた業態転換など、新たな取り組みや前向きな投資、直面する経営上の課題解決のためのICTやプロフェッショナル人材の活用など、チャレンジする地域企業を幅広く支援していく。

新型コロナウイルス感染症対策について

質問 市長は知事に対してまん延防止等重点措置の適用申請するよう要請したと伺っている。しかし知事は、県独自の緊急特別要請を行うこととなった。市長の危機意識と知事の認識の間にはズレがあるようだが、市長の考えを伺う。

答弁 私は対策を早期に幅広く講じ、感染拡大を押さえ込むべきと考え、1月下旬に知事に対して、まん延防止等重点措置の適用の要請を行い、その後の極めて厳しい状況を踏まえ2月9日にも再び要請を行った。

質問 まん延防止等重点措置の適用を受けなくても、飲食店をはじめとした中小事業者に対する緊急的支援を市として行うべきだが、如何か。

答弁 売り上げが大きく減少した市内の事業者の事業継続・回復を下支えするために、独自の支援策を早急に講じる必要があると判断し、今定例会に補正予算案を追加提案する準備を進めている。

質問 39歳以下で重傷者リスクの低い患者は原則自宅療養とする方針が示されている。自宅療養者の増加が見込まれるが、本市の自宅療養者に対する健康観察、フォローアップはどうなっているのか。

また、乳幼児用も含めた生活支援物資の配送体制と現状について伺う。

答弁 日々の健康観察においては電話による確認に加え、患者自らがスマートフォン等により健康状態を入力する手法も併用し、対象者が増加する中でも適切に行えるよう工夫をしている。



自宅療養者に配送される宅配セットイメージ

自宅等で安心して療養いただくための生活支援物資の配送は、従来からの食料品や日用品に加え、乳幼児の患者がいる家庭へのオムツや粉ミルクをセットした乳幼児パックの配送も開始したところで、希望される方全員にお送りできている状況だ。

質問 感染を抑える一番のカギとなるのは何といってもワクチン接種の加速化だ。3回目接種の進捗状況について伺う。

答弁 昨日時点で市内の全人口の12.6%にあたる、約13万人の方が接種を終えており、全国の実績を上回るペースで進んでいる。

質問 3月から開始される小児接種への対応も重要だ。国ではこの世代へのワクチン接種については、努力義務ではなく接種勧奨と位置づけたが、この点に関する本市の受け止めについて伺う。

答弁 接種勧奨を行うものの、本人及び保護者に対する努力義務は課さない。本市としては感染拡大防止の観点から希望する方への速やかな接種を行っていくことが重要であると考えている。

質問 実施に向けた準備状況は。

答弁 現時点で小児科を中心に約90の医療機関にご協力をいただくこととなっている。本市に供給される小児用ワクチンの数量が限られていることから、接種券は2月下旬から段階的に送付することを予定している。

質問 コロナ禍で閉塞感が漂う社会状況下でも、市民に明るい展望を持っていただくことが重要だ。ウィズコロナ・アフターコロナにおいて市民の消費を喚起するためにどんな施策を展開していこうとしているのか伺う。

答弁 商店街等への集客という視点から、スマートフォンアプリを活用したデジタルスタンプラリーによる商店街等買い回り促進キャンペーンを行う予定だ。一定のスタンプが貯まった場合にデジタル商品券を発行する。

子育て応援まちづくりについて

質問 市長が考える子育てにおいて、本市が選ばれるために必要なものとは何か、その実現に向けた決意を伺う。

答弁 仙台を選んでいただくためには、子育て施策の充実のみならず、子育てしやすい住環境や社会インフラ、また良好な就労環境、良質な教育、安心な医療や福祉など、あらゆる分野において都市の魅力を底上げしていく取り組みが重要であると考えている。

質問 新生児誕生祝福事業は、新生児とその保護者に育児用品や地場産品等が選べるオンラインカタログギフトを送付し、子供が生まれた家庭を祝福するとされている。本事業に対する当局の考えとその進め方について伺う。

答弁 本事業は、未来を担うお子さんの誕生を社会全体で祝福し、歓迎したいという気持ちをカタログギフトとしてお届けするものだ。ギフトの内容は育児用品のほか、地域経済への波及効果も見込めるよう、本市ゆかりの地場産品なども含めることとした。

質問 子ども医療費助成制度について、今回この制度の拡充に込めた市長の思いを伺う。さらに、実施時期は少しでも早い実施を求める、如何か。

答弁 継続的な子育て家庭の経済的負担の軽減に資する子ども医療費助成の所得制限の撤廃を決断した。令和4年度中に必要な準備を進め、令和5年4月からの実施を目指していく。

GIGAスクール構想の推進について

質問 児童生徒の学びの機会を確保し充実を図るためには、教育のデジタル化の加速が急務だと訴えてきた。まず各学校における1人1台端末の活用状況、学校の取り組み状況について伺う。

答弁 まずは端末に慣れる段階としてキーボード練習やインターネットを使った調べ学習、プレゼンテーションソフトを使用した発表資料の作成などから始まり、学級内の話し合い活動やアンケート調査など様々な場面で活用を積み重ねている。

質問 家庭での端末活用の現状と今後の予定は如何か。

答弁 平常時の家庭学習での端末活用も順次進めており、短期の臨時休校や感染不安などで学校を休んでいる児童生徒に対して、端末を活用した朝の健康観察や課題の配

布・提出など、家庭での学習機会確保に取り組んでいる学校もある。



質問 学校によって取り組

みにばらつきがあってはならない。全校で1人1台端末を活用した学習を実施できるよう体制を構築するべきだ。見通しを伺う。

答弁 新年度は授業支援などを行うICT支援員の全学校への配置や、学習を効果的に進めるための授業支援ソフトウェアの導入などで充実を図っていきたいと考えている。

不登校対策について

質問 本市の不登校児童生徒数は令和2年度で約1700人。前年度よりは100人減少したが、その数は依然として非常に多いと言わざるを得ない。在籍学級外教室「ステーション」の設置を10校から20校に拡大するとの事だが、20校とした根拠、今後の取り組みの方向性について伺う。

答弁 新年度は不登校生徒数や支援のニーズなどの各学校の状況と、確保できる教職員数などを踏まえ20校に拡充する予定だ。

質問 新たに児童生徒・保護者等に向けた情報誌を発行するとの事だが、その内容と意義、これらをどう組み合わせ不登校対策を進めていく考えなのか。

答弁 保護者があらかじめ不登校に関する情報を得ている事は、児童生徒への円滑な支援につながると考えている。

情報誌を発行し児童生徒やその保護者が不登校への理解を深められる一助とするとともに、個々の状況に応じたきめ細かな児童生徒への支援となるよう努力していく。

雨水対策について

質問 本市の雨水対策は、仙台駅西口の浸水対策等、市中心部に集中しているように見える。近年頻発している浸水被害に鑑みれば、雨水対策予算の重点配分と市全体のバランスの良い整備が求められる。整備の考え方、方向性について伺う。



答弁 浸水状況の分析に基づき浸水対策重点地区を設定し整備を進めている。

新年度は仙台駅西口地区のほか、白鳥・福室地区などの雨水ポンプ場や雨水幹線、準用河川、谷地堀等の整備を行うこととしている。国土強靱化を念頭に総合的な雨水対策を推進していく。

ガス事業民営化について

質問 公募の一連の経過について、藤本副市長の下で検証を進めるとの事だったが、この間の進捗状況と今後の進め方について伺う。

今後のガス事業の展望や市民や地域経済への影響と、本市まちづくりを意識しながら歩みを止めることなく民営化を成し遂げるべきだ。市長の意気込みを伺う。

答弁 外部の有識者やコンサルタント会社からもご意見をいただきながら、今年度内に検証結果を取りまとめ市民の皆様にも多様なサービスを提供し地域経済に活性化をもたらすことなど、本市のまちづくりにも資するよう着実に民営化の取り組みを進めていく。

質問 公募にあたりコミュニケーションが不足していたとの指摘もあった。両者がウインウインになるような話し合いができるよう、市を挙げて取り組む姿勢が必要ではないかと考えるが、如何か。

答弁 立場や考え方が異なる中でも民営化を成し遂げるために協議を通じて共通理解を得ることが必要であると考えている。この度の検証結果を踏まえ民営化を前へと押し進めていきたい。

4病院の再編について

質問 市内2病院を含む4病院の再編に関して伺う。再編による地域医療体制への影響について市民や医療関係者から多くの不安や懸念の声が上がり切実な問題となっている中、全てが決まってから公表するという県が言う通り、仙台医療圏の課題が解決され、地域医療の質の向上が実現するような再編が実現できるのか。市には医療提供体制の確保に向けて的確な対応が期待されている、このような県の考え方、進め方についてどう受け止めているのか伺う。

答弁 県は新年度に仙台医療圏の医療提供体制の現状と課題を整理するとともに、基本構想を作成し新年度末まで基本合意を目指すとしている。

県においては未だ充分とはいえない市民や関係者への説明や疑問の解消を進めてい



ただくことが大切で、適時適切に情報を公開するよう働きかけを強めていきたい。

質問 本市において学識経験者、医療関係者、地域代表者、様々な立場の方々から意見を聴取する懇話会を開催している。これまでの会議では非常に活発な議論が行われているが、この議論を踏まえ市としてどう対応していくのか伺う。

また、市の医療体制をどうしていくのか、しっかりとした考え方を示していく必要があるのではないかと考える。市長の所見を伺う。

答弁 市民からの要望等も踏まえ、昨年11月に取りまとめた「本市の考え」を整理し年度内に県に示すとともに、引き続き情報収集を行い本市として必要な対応を検討していく。

新年度には市内医療機関等の調査を行うとともに、有識者会議を設置し本市医療提供体制の現状と課題について認識を深めていきたいと考えている。

首長としてのスタンスについて

質問 県政と市政とのあいだには多くの重要かつ難しい行政課題が横たわっている。市民生活に密着した基礎自治体の長としての市長の判断と、知事との判断は時として異なることがある。しかし市長におかれてはたとえ知事と意見が異なっても市民の幸せのため、また東北唯一の政令指定都市の長として主張すべきは主張し、同時に、常に対話を続けながらより良い解決策を共に探っていくという姿勢で市政運営に当たっていただきたい。そうした姿勢を市民に開かれた場で示し続けていただきたい。この点について市長の見解を伺う。

答弁 私としては仙台市民の皆様からの負託を受けた者として、幸福につながる多くの思いの実現に向けて最大限努力をすべきであり、申し上げるべき事は申し上げていくことが基本と考えている。

引き続き県とは密接な連携や適切な調整を図りながら、109万市民のために市政運営を進めていく考えだ。

岡部恒司 予算等審査特別委員会 総括質疑項目

●ロシアのウクライナ侵略に加担しているベラルーシにあるミンスク市との姉妹都市提携の在り方を検討すべき！

●中小企業等事業復活支援給付金

- ・50%以上だけでなく、30%～50%未満の事業者も対象とすべき！
- ・税金は大事だが、この事業にはみんな使って良いと言うだろう、はっきりとした答えを求める！

●音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点の整備

- ・音楽ホールは市長が目指す具体像を示し、市民や関係者等の理解と協力を得なければならない。整備に向けた決意を！
- ・せっかく作るなら世界一を目指すべきだ！
- ・音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合整備は、コスト縮減以外の意義を、明確に示すべき！
- ・震災風化が危惧される中、ハード整備を待たずにソフト事業を着実に実行していくべき！

●コンベンション誘致

- ・青葉山エリアの魅力高めると同時に、コンベンション誘致にも弾みがつくよう整備していくべき。エリア全体でコンベンション機能を高めトップクラスの誘致を目指していくべき！

●G7関係閣僚会合の誘致

- ・感覚として何合目くらいか。国の動きを捉え、時期を逸することなくトップセールスがかかることが重要。今後の見通しと併せて伺う。
- ・本体誘致を目指すべき、一緒に頑張ろう、ファイティングポーズを！

●バスタプロジェクトについて

- ・都心再構築プロジェクトで民間を誘導する上で、積極的に呼び込むにはエリアの魅力高める整備に主体的に関わることが重要！
- ・バスタプロジェクトは起爆剤になる！
- ・国は調査中とのことだが、積極的に働きかけを



期待される仙台バスタプロジェクト

●東北連携と交流人口ビジネス活性化戦略

- ・仙台が売りにできるコンテンツを磨き上げることが重要！
- ・仙台が東北の他都市からどう見られているか、互いに議論し理解を深めることが重要。
- ・戦略に魂を入れ覚悟を持って取り組みを！

交流人口の拡大

●兄弟姉妹が別の保育所となることの解消

- ・待機児童ゼロの見通しが立った一方で、質の整備は置き去り！
- ・兄弟姉妹が別の保育所という状況、政令市の中でも下から数えた方が早い。
- ・いつまでに、どのような施策で、何人減らすのか、明確な作戦を立てて取り組むべき！

●スーパーシティについて

- ・報道の事実関係、今後どのように対応するか。

●県政との関係について

- ・県政との間には、今後の市政を左右する重要な行政課題が多数ある！
- ・知事に言うべきことは言うという市長の姿勢は良い。
- ・タイミングを見定め、ぶれないことが肝心！
- ・改めて課題解決に向けた市長のスタンスを伺う。

●指定ごみ袋・ごみ処理手数料について

- ・指定ごみ袋に係る費用はコロナ禍でどのように変動しているか。
- ・中国で製造しているが品質は大丈夫なのか。国内で製造しないのか、やるべきだ！
- ・高齢一人暮らしの家庭も多くなってきた、今の最小サイズよりさらに小さいサイズも必要ではないか。2年前から言っているが、その後どうなっているか。

●ガス事業民営化について

- ・今後の方向性は！



●イノシシ対策について みんなで農作物を守ろう！

- ・ 罾にかかったイノシシの処理は、場所によっては銃が使えず非常に危険。どのようなルールなのか。
- ・ 県のルールではなく国のルールとのこと。

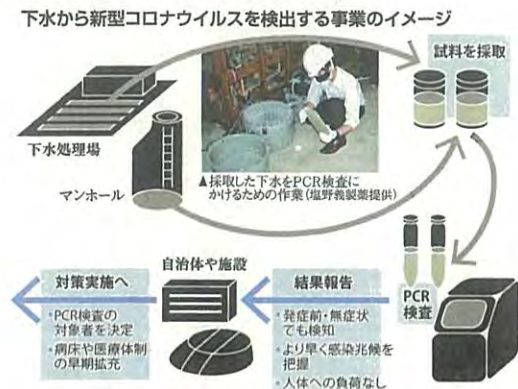


命がけでやってられない、でもやらなければいけない状況。県も含めて、国に強く法改正をするよう働きかけを！

●下水疫学について

- ・ いつの間にかやっていた。なぜ教えてくれなかったのか。
- ・ 下水疫学とはどのようなものか。
- ・ 新型コロナに関する研究は東北大学以外でもやっているのか。
- ・ 共同研究では何を目的にどのような取り組みをしているのか、仙台市の役割は。

- ・ 下水の新型コロナ濃度から感染者数を予測する研究の評価は。
- ・ 多くの市民に知ってもらうために広報が重要、さらなる広報、PRが必要！
- ・ これまでの研究成果、実験についての保健所の評価は。
- ・ さらに研究が進み精度が上がった場合の保健所の活用の考えは。
- ・ この研究に対する当局の所見は。



ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し断固抗議！

仙台市議会を代表し、ロシアへの避難決議を提案!全会一致で採択!!

ロシアは、令和4年2月24日、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナに軍事侵攻を開始しました。大量のミサイル攻撃等が行われ、軍事施設のみならず、民間人を含む多数の犠牲者を出しております。この侵攻により、ウクライナ国民及び邦人を含む在留外国人が、生命の危機にさらされている状況にあります。これは、明らかに国際連合憲章に違反する行為であり、国際社会の平和と安全を著しく損なう、許しがたい侵略行為であります。

よって、仙台市議会として、国際秩序を脅かす、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し、断固として抗議するものです。

また、日本政府においては、現地在留邦人の安全確保に最大限努めるとともに、G7をはじめとする国際社会と緊密に連携しながら、ロシアに対する厳しい制裁措置を講じ、及び無条件かつ完全なロシア軍の即時撤退を要求するよう、強く求めるものである。



みなさんの声で住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたら
お気軽にお知らせください。

●**仙台市政**に対してのご意見を一言お願いいたします。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

仙台市議会議員 **岡部恒司**

お電話でご協力をいただければ幸いです。

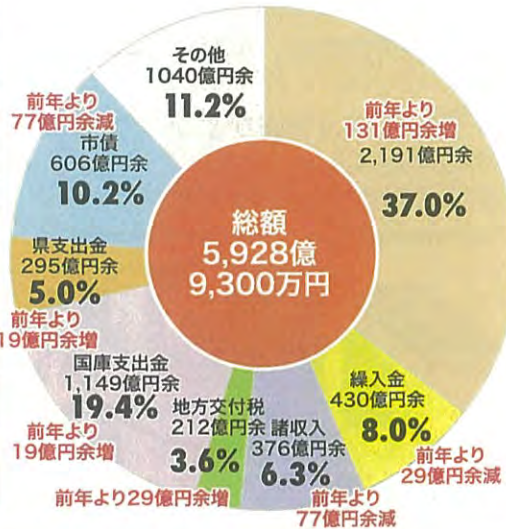
連絡先 TEL 022(271)1770

朝8時より夜6時までの時間帯でお願いいたします。

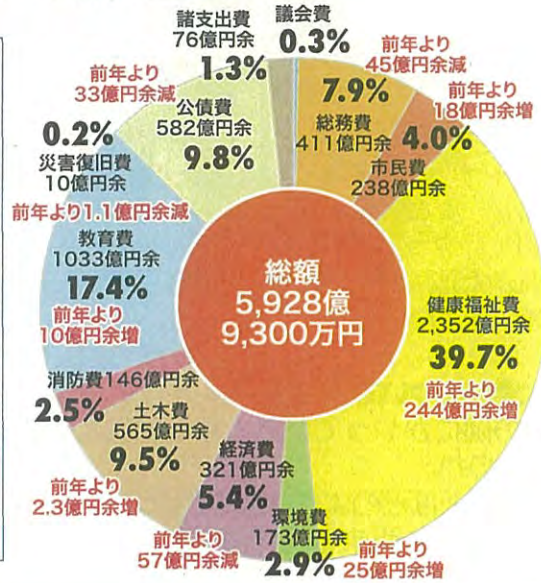
FAX 022(271)1786

令和4年度一般会計歳入・歳出当初予算

1、一般会計・歳入の概要



2、一般会計・歳出の概要



令和4年度 青葉区の主な事業

- 仙台国際センター施設整備
- 広瀬川親水施設等整備
- 青葉山公園整備
- 仙台城跡整備推進
- 仙台駅西口ガス灯改修
- 定禅寺通活性化推進
- 勾当台公園再整備
- 作並・新川地区活性化
- 仙台萬本さくらプロジェクト
- 先端技術を活用した宮城地区の地域課題解決
- 都市計画街路整備(郡山折立線(青葉山))
- 道路新設改良(北六番丁線、高畑定義線、愛子赤坂線等)
- 東六番丁児童館建設
- 片平児童館建設設計
- 公立保育所建設(落合保育所)
- 校舎増改築設計(片平丁小、八幡小、北仙台中)
- 障害者福祉センター整備(旭ヶ丘駅前公共施設整備)
- 障害者相談支援事業所(ぴぼっと支倉)大規模改修
- 市民センター大規模修繕設計(貝ヶ森)
- 旭ヶ丘駅前公共施設整備 など

郵便はがき

9 8 1 0 9 3 3

投函される場合は、恐れ入りますが、52円切手を貼付してご投函お願いします。

岡部恒司行

仙台市議会議員

仙台市青葉区柏木2丁目4番16号 501

ご住所	お名前

※是非ご記入ください。

みなさんの声で
住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事が
ございましたらお気軽にお知らせください。

左記のハガキにてご投函ください。
または、お電話・FAXでも承ります。

TEL 022(271)1770 FAX 022(271)1786